

ユビキタス親子の ユビキタスな生活

このコーナーでは、ずいぶんと身近になってきたユビキタスコンピューティングの動向をドラマ形式でご紹介します。登場する人物はすべて架空ですが、登場する技術はすべて実用化済のもの、あるいは実証実験中のものです。

本多一郎さんは東京神田で五十年続く古本屋の主人。一人息子の翼君（小学六年生）に古本の鑑定方法を教え込もうとがんばっています。でも翼君が今一番興味があるのは携帯電話。いまだにうちの黒電話を変えよつとしないお父さんとはなかなか話が合いません。

そんな折、翼君とお父さんは、お父さんの古くからの友達で「ユビキタス未来研究所」の所長である天馬博士と一緒に、ユビキタスの最先端実験が行われているイネーブル島へ旅行に行くことになりました。さて、どうなりますか…

（イネーブル：neableは可能にする）

父 おい翼、半分持つてくれ。翼 荷物多すぎるよ、お父さん。二泊三日の旅行でスーツケースつもいないのに。

父 お前は考えが甘いんだ。「備えあれば憂いなし」と古い本にも書いてある。ともかく荷物預けるまでは半分持ちなさい。

空港で荷物を預けようと列に並んでいると天馬博士がやってきた。なんと博士は小さなバッグ一つだけです。

父 そんな荷物でいいのかい？ あなたは昔から計画性がなくて…

博士 大丈夫、荷物は全部自宅から送りましたから。後は到着先の空港で受け取るだけです。

★「手ぶら旅行」
靴にICタグをつけ、宅配便と空港チェックインのシステムを連携させれば、自宅から旅行先までまさに手ぶらで行くことができます。自宅宅で宅配業者が荷物を預ける際にICタグが付けられ、荷物は空港に運ばれ、荷物チェックを経た後、搭乗予定の飛行機へ自動的に積み込まれます。

自宅から空港までの宅配サービスは現在もありませんが、空港でいったん荷物を受け取って荷物チェックを受けなければなりません。手ぶら旅行ではその部分も自動化されます。

イネーブル島へは片道三時間。読書していたお父さんはいつの間にか夢の中へ。博士は電子ブックを広げ、翼君に最先端のIT技術の話話を話して聞かせています。飛行機は着陸態勢に入りました。イネーブル島は快晴です。博士 まず腹ごしらえをしましょうか。

父 そうくると思ったよ。だからこの島のガイドを三冊持つてきた。

スーツケースを広げて本を取り出すお父さんの隣で、博士は自分の腕時計を操作し始めました。腕時計と書いたのはウェアラブル型のPDA携帯情報端末（端末）でした。

★「ウェアラブル」
ウェアラブルとは、身に付けることができる」という意味で、機器を小型化し、服を着るように身に付けて持ち運べるようにした

ものです。例えばディスプレイでは、目の上に小さな画面を装着したり、眼鏡型で風景の中に情報が重なるように見えたりする。HMD（ヘッドマウントディスプレイ）や、FMD（フュームマウントディスプレイ）と呼ばれる装置があります。PDAを腕時計型にしたものも開発されています。

博士 近くに島の魚をネタにしている回転寿司があります。どうですか？

翼 博士、行きたいです！

父 回転寿司？ えーと寿司は28ページから…

博士 「北須寿司」ですよ。出てますか？

父 「北須寿司」？ いや、うちのガイドにはないな。たぶんもう一つの方のグルメ専門の…ほらあった！

翼 どう行けばいいの？

父 ン？ えーと住所はだないや、この地図は小さすぎるからうちの「イネーブル全島詳細地図」で…

博士 大通りをまっすぐ行った所で。行きましょつ。

翼 お父さん置いてくよ。

★「道案内システム」
目的地までの道順をPDAに表示させることができます。「あちらの道は現在通行止めなのでこちらから」とような情報も得られます。例えば車椅子やベビーカーの場合、その情報をPDAに登録しておけば、歩道橋ではなく横断歩道を案内したり、工事中で道幅が狭くなっているところを避けて表示されたりします。

北須寿司はすぐに見つかりました。

博士のPDAには現在の食材の状況やお勧めのネタが表示されています。三人は島の新鮮な魚に大満足です。

★「お店の情報を表示」

PDAに表示されている地図の建物や店をクリックすると、本館ではこんな企画をしています。ぜひお寄りくださいとか、本店の営業時間は 時から 時までです。ただ今ランチタイムサービス中です。等の情報が表示されます。

翼 すごくおいしかったよ、お父さん。

父 そつだろ。お父さんがガイドで調べたからな。

博士 じゃ、行きましょつか。会計にしましょつ。

父 翼、この前も言わなかったか？ こんな時はお店の人が会計しやすいように単価ごとにとめて皿を重ねるんだ。お父さんの見てみる、下から順に120円のグループ、150円のグループ、200円、250円で、300円以上は一枚だけ…。

博士 本多さん、それは必要ないよ。

お店の人はお皿に携帯端末を近づけました。すると腰の携帯プリンタから伝票が出てきました。

★「RFIDを使った回転寿司」
皿の裏側にRFID（電子タグ）を貼り付ければ、携帯端末を近づけるだけで一瞬にして会計処理ができます。またその情報を利用してネタの売れ筋管理なども行えます。

博士 さあ、次は美術館に行きましょつ。

（次号に続きます）

著作権の関係上、表示できません。